

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・前年8～9月はコロナ禍での営業で来客数の低下傾向が続いたが、今年では来客数に改善がみられる。客の店内滞留時間、購買単価共に今後も増加傾向が続くと想定している。
	◎	コンビニ（店長）	・年末に向けて購買意欲が高まってくるため、景気は良くなる。
	◎	旅行代理店（従業員）	・中国の団体旅行解禁で、個人のインバウンドが多くなっている状況は続く。
	○	商店街（代表者）	・幼稚園や小中学校の秋の行事がめじろ押しで、予約が入ってきている。ただし、猛暑の継続や台風の影響を受けるのではないかと不安である。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、初めて迎えた夏休みであったため、観光地を訪れる人の開放的な雰囲気も高まり、以前と比べて旅行を満喫している様子の人が多くなっている。外国人旅行者も相変わらず多く、2～3か月後の紅葉シーズンも、旅行マインドの強い状態が維持される。受入れ側の体制作りが急務である。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染症発生前と比べて購買行動に変化があった部分もあるが、人流が回復し、少しずつ良くなっていく。
	○	コンビニ（経営者）	・必要な物を吟味し、無駄な物は買わない傾向が顕著にみられるが、アフターコロナでやっと来客数減少に歯止めが掛かり、増加に転じたことが期待につながっている。値上げは続くと思うが、容認されつつあると感じている。
	○	衣料品専門店（統括）	・10月は当地の秋祭りがあり、通常なら盛大に行われるため、客の出も多くなる。祭り用品が中心の商売なので、今年は例年どおりになってもらえれば願っている。
	○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行は、景気回復に大きな影響を与えている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・9月の入込は各部署共に落ち着いているが、秋の観光、総会シーズンに向けて10～11月と近隣観光施設、レセプション会場と絡めた会場利用が増加している。直近での受注傾向が強い料飲部門でさえ既に多くの団体予約が入っている。やはりイベント開催が通常に戻ってきているため、人流が活発になっていると実感している。
	○	旅行代理店（所長）	・猛暑の影響で、秋の紅葉の色づき具合が心配されるが、インバウンドにも引っ張られて、伸びていくことが期待できる。
	○	旅行代理店（営業担当）	・来客数は変わらないが、単価は上がっている。夏のボーナス後なので、2～3か月は持ちこたえとみている。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなってきたので、この先も良くなる。
	○	通信会社（営業担当）	・中国の団体旅行の解禁や暑さも和らぐことから、旅行業界は順調に回復し、インバウンド需要が大きく伸長する可能性がある。
	○	テーマパーク（職員）	・紅葉シーズンを控え、安定した天候や新型コロナウイルス感染症の影響が減少しても、全国旅行支援の終了や遠方への旅行増加等に客が奪われ、大幅な回復は見込めない。
	○	ゴルフ場（従業員）	・気温が落ち着いてくれば回復すると見込んでいるが、温暖化による豪雨も心配である。天候の影響が非常に大きい。
	○	美容室（経営者）	・周囲の競合店が一斉に値上げに踏み切った。先駆けて値上げした当店の来客数が減らないのを確認して、足並みをそろえたようである。
	○	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行により、活動がしやすくなっている。新型コロナウイルス感染症によって進んだオンライン化等をうまく活用しながら、今後は消費活動も戻ってくる。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋になれば天候も落ち着いて、平年並みの気温になって、少しは動きが出てくる。物価高にも対応して、皆、我慢している。ちょっと難しい状態である。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・いろいろ行事も終わったので、平常に戻るため、変わらない。
□	百貨店（営業担当）	・外出機会拡大に伴う、化粧品やアパレル等の関連商材の堅調さは維持されるものの、物価高の継続が消費拡大のブレーキとなっている。	
□	スーパー（総務担当）	・水道光熱費や物価上昇もあり、今後の動向は分からない。	

□	衣料品専門店（販売担当）	・今月の悪さは他と比較にならないほどである。今後2～3か月先まで、現状の悪さが続くのではないかと。秋を待って、秋風が吹いてくれればよいが、長期予報でもかなり暑さが続くようで、本当に体力が持たない。
□	家電量販店（店長）	・必需品の売上には底堅さはあるが、商材価格の上昇により、品定めや他店舗との価格比較が増えている。今後もし好品の売上が伸びてくる状況にはない。
□	家電量販店（営業担当）	・取引先の中小企業の倒産がなかなか減らない。提案内容を変えて案内しているが、無駄な支出や投資に関しては厳しい状況がある。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産台数は安定している。3分の2が海外輸出で、3分の1が国内需要というところではないかと。いずれにしても関連会社は安定操業なので、地域全体もほぼ安定している。商業界も優勝劣敗で、相変わらず大規模小売店の独り勝ちのようである。
□	乗用車販売店（販売担当）	・今の景気のまま、これ以上は良くならない。2～3か月後も現状が続く。
□	自動車備品販売店（経営者）	・ガソリンなど燃料価格の高騰もあり、やや縮小傾向にある。良いとも悪いとも感じないが、将来には余り期待はできない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・食品以外のカテゴリでは様々な商材、サービスの値上げの影響から、消費意欲は減退したままである。燃料代等も含めた為替の影響等の不安定要因が払拭されないため、当面上向く予測は立てにくい。
□	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	・原材料等の大幅値上げが続き、飛躍的な向上は難しいものの、適確な営業をすることで、良くなった現状を維持することは可能だとみている。
□	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	・社会情勢の大きな変化がない限り、現状維持と予想する。
□	旅行代理店（経営者）	・バス事業については、運転手不足で仕事をこなし切れないため、恐らく変わらない。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症の第9波になり始めたようだが、マスクを外した乗客も増えている。景気回復にはまだ時間が掛かりそうである。
□	通信会社（社員）	・身近なところでは、電気代やガソリン代等の高騰があるが、行政の支援もあるのでガス代、水道代は下がっている。今後も政府や行政の支援継続を期待している。
□	通信会社（局長）	・まだ電気代や原油価格が高止まりで収まらず、現状は原価への影響が大きい。しばらくは厳しい状況が続く。
□	競輪場（職員）	・売上に占めるインターネット購買層の割合が高い。一方で来場者数は伸び悩んでいる。また、円安等による物価高や賃金等が上昇しないなかでは、売上の増える要因が見当たらない。
□	住宅販売会社（経営者）	・地価が上昇していないため、土地売買の動きが鈍い。このまま横ばいが続くかと予想している。
□	その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（営業）	・ひょう被害などの天災や残暑がいつまで続くかにもよるが、快適さを求めたリフォームや機器の更新に対する関心は続くかとみている。
▲	百貨店（営業担当）	・止まらない原材料価格の高騰、ガソリン価格高騰のニュースなどで、消費者の生活防衛意識の高まりや、外出需要へブレーキが掛かるなど、不安要素が収まる気配がない。
▲	スーパー（商品部担当）	・競合店対策はするが、新店の影響は続く。10月中旬にもまた別の新規オープン店舗が控えているため、一層厳しくなる見込みである。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症の表面上の収束と猛暑のために、来客数の増加があったが、これはそろそろ終わる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・物価高が続くなかで受注状況の良化は厳しい。受注は毎回減少している。
▲	住関連専門店（店長）	・景気が良くなる要因が見当たらず、この現象は少しずつ悪化するとみられる。
▲	その他専門店 [靴小売業]（経営者）	・この2～3か月は天候に左右され、メインターゲットの客層の出足が悪い状態が続いている。
▲	その他専門店（総務担当）	・前月に問合せや見積りが少なかったため、やや悪くなる。

	▲	一般レストラン（経営者）	・材料の価格高騰が止まらず、企業の予算は少ない。この状況では良くなるはずがない。一般客の動きに大きな変化はないものの利益率が低下しており、この先落ち着く感じは全くしない。
	▲	一般レストラン（経営者）	・個人店は悪くなっていく。インボイス制度もあり、店主の高齢化や、機材の故障を機に閉店する個人店がとても多い。
	▲	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・8月は夏休みで、行楽シーズンであり、子供が家庭にいてもあり動いたと思う。今後、年末に向かってはガソリン価格の高騰や、年末に出費がかさむことが分かっているので、消費は落ち込む。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食部門においては、食材費、諸経費の上昇に加えて、最低賃金の改定や人手不足等に伴う人件費上昇が想定されるため、収支確保に向けて、更なる改善努力が不可欠となっている。取引先への取引条件改定のお願いと経費節減に更に踏み込んで取り組んでいかなければならない。
	▲	通信会社（総務担当）	・客層が中高年中心のため、食費や光熱費の値上げが一段落するまでは、販売の大幅な回復は見込めない。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・食料や光熱費の高騰が続き、消費者が価格に敏感になっている。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・価格転嫁しにくい小規模事業者は賃金上昇にも耐えられず、新規雇用を抱える余力はない。中途採用を募っても応募者ゼロの状態が恒常化している。転職防止に必死の経営を余儀なくされている。苦肉の策で業務縮小を図らざるを得ない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・更なる増税やインボイス制度が始まることで、業者はかなり痛手を負うことになる。これで景気が良くなるはずがない。
	×	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス感染症関連の給付金で需要を先取りしているため、耐久消費財については需要喚起策がないと厳しい。
	×	通信会社（経営者）	・これだけ円安を放置されたら輸入産業が良いはずがない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・9月は取引先も平常稼働日数が20日くらいあるため、8月よりはやや回復する。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・取引先の材料調達にまだ若干の不安はあるものの、生産は安定している。そのため、今後は人材の確保が重要になってくるのではないかと懸念している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・このところの値上がりだが、これからはずっと続きそうである。全体的に、買い控えがあるように思う。今後も買い控えの傾向は続く。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・猛暑のなか、製造、売上共に順調である。
	□	金属製品製造業（経営者）	・今は受注量がなく、困っている。先のことはよく分からない。
	□	金属製品製造業（経営者）	・取引先からの内示によると、変わらない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・ガソリン価格や原材料費の度重なる値上げにより、消費者、生産者共にマイナスイメージしか出てこない状況が続く。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等が続いているため、変わらない。
	□	輸送業（営業担当）	・季節の変わり目で、秋冬物初回の家電、電気カーペットやこたつ、寝具等の物量は前年並みを確保予定である。しかし、燃料価格の高騰が続いていることやドライバー不足もあり、コスト高となっている。今後は、年末年始を控え、加えて2024年問題もあるので、車両不足が予測され、荷主と運賃の交渉を行う予定である。
	□	不動産業（経営者）	・様々な資材が値上がりしているため、メンテナンスや維持管理に費用がかさむ状態は変わらない。
	□	経営コンサルタント	・地域の中小企業では賃金レベルの小さな改善はみられるものの、大手ほどの大きな給与上昇等は余りない。それでも、一定の物価対策が採られれば、家計支出も頭が抑えられる要因はそれほど見当たらない。引き続き、自動車関連の下請企業等では、やや活気が出て一方、食関連の物流はさほど伸びていないため、地域経済全体としてはまだら模様が続く。

	<input type="checkbox"/>	司法書士	・変わらないと思うものの、やや下がるのかという感触がある。
	<input type="checkbox"/>	社会保険労務士	・国内は余り変わらない。海外の景気次第である。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段変化はみられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・内示を大幅に下回る取引先が増えつつあり、新規立上がり品では落ち込み幅をカバーできない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・年末回りになって、がくっと落ちるような感じがするため、やや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・大企業経由での中国向け案件の仕事を多く抱えているが、中国の不動産不況の影響が気掛かりである。
	<input type="checkbox"/>	建設業（開発担当）	・当社の売上の95%は公共工事が占めている。7月末時点の今期発注済は4か月で、あと8か月残っている。現在の受注額は前年比10%減少である。今後の受注に期待したい。
	<input type="checkbox"/>	建設業（総務担当）	・とにかく工事量が足りておらず、先行きも不安しかない。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（管理担当）	・今後も資材や燃料、光熱費等の値上がりは続く。貸しテナントでも経費削減のための退去予定があり、空室が増える見込みである。
雇用 関連 (北関東)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・天候の影響等で建設の立ち遅れがあるものの、工事業者等は河川復旧等での工事もあり、かなり忙しそうで大分動きが出て、売上自体は伸びていくだろうとみている。住宅の改築なども良いと思うが、季節商材、衣料品、ギフト、生鮮食料品等は温暖化の影響が出てくるところがあるのではないかと。米や青果物等の動きも厳しそうで、少し予測が付かない。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人倍率が上昇しており、人手不足が顕著になっている。景気は上向いていると感じるものの、今後、人手不足により、新たな問題が発生する可能性があるため、景気の動向は不透明な要素もある。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	・10月からの最低賃金引上げにより総合的に時給が上がるため、求職者数は増えると予測している。その反面、派遣先への請求単価は連動しない傾向があるため、収益的には変わらない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（従業員）	・人材の依頼がない状態は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年同月からの増減率について、医療、福祉では連続して増加が続いている一方、建設業や製造業等は増加と減少を繰り返している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・物価高騰の影響で企業の光熱費負担も増え、人件費を抑制する取引先が出始めている。若手の新規登録者数が伸びず、取引先も人材不足を社内の配置転換で対応する等、厳しい状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	*	*